

2016年12月期 決算説明会資料 2016年実績および2017年業績予想

財務責任者
見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※各用語の定義については、スライド3に明記しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

<用語の定義>

調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
当期利益：	親会社の所有者に帰属する当期利益
総販売数量： （海外たばこ事業）	水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み
自社たばこ製品売上収益： （海外たばこ事業）	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み
紙巻総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体における紙巻たばこの販売本数（Emerging Products等は除く）
販売数量： （国内たばこ事業）	国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを含まない
自社たばこ製品売上収益： （国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Ploom TECHのデバイス・カプセルを含むEmerging Productsの売上込み

（このスライドは空白です）

2016年実績

*本プレゼンテーションにおける比較情報としての2015年度実績は、継続事業ベースにてお示ししております
(継続事業・非継続事業の分類に関する詳細は決算補足資料1ページをご参照ください)

全社実績

	(億円)	
	2016年 実績	対前年 増減
為替一定ベース		
調整後営業利益	6,975	+11.3%
財務報告ベース		
売上収益	21,433	-4.9%
調整後営業利益	5,868	-6.4%
営業利益	5,933	+5.0%
当期利益	4,217	+5.8%
FCF*	-3,162	-7,029億円

為替一定ベース

調整後営業利益

**全事業の貢献により
11.3%の利益成長を達成**

財務報告ベース

売上収益・調整後営業利益

為替影響により減収減益

営業利益・当期利益

不動産売却益等により増益

FCF

NASの買収に伴うマイナス

海外たばこ事業実績 – 数量・為替一定ベース

	2016年 実績	対前年 増減率
数量実績	(億本)	
総販売数量	3,987	+1.2%
GFB販売数量	2,837	+3.7%
為替一定ベース	(百万US\$)	
自社たばこ製品売上収益	11,215	+8.5%
調整後営業利益	3,693	+13.4%

力強いPricing効果の発現

二桁の利益成長率を達成



© Copyright JT 2017

7

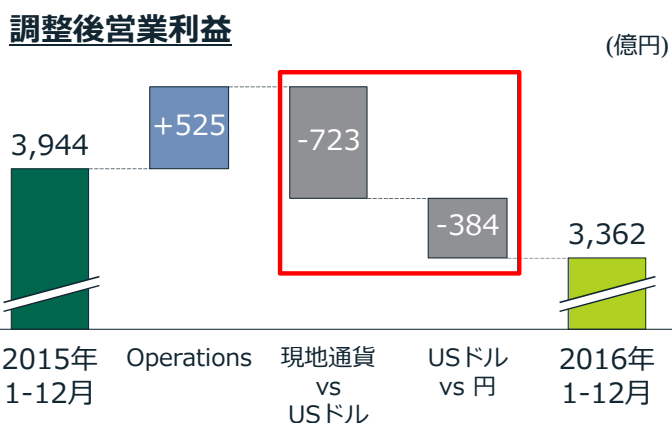
海外たばこ事業実績 – 財務報告ベース

	2016年 実績	対前年 増減率
財務報告 USDベース	(百万US\$)	
自社たばこ製品売上収益	10,490	+1.5%
調整後営業利益	3,095	-5.0%
財務報告 円ベース	(億円)	
自社たばこ製品売上収益	11,388	-9.1%
調整後営業利益	3,362	-14.7%

実績為替レート

	2016	前年比
RUB/USD	67.07	-9.1%
GBP/USD	0.74	-11.6%
JPY/USD	108.78	-10.2%

詳細は決算補足資料6ページに記載



© Copyright JT 2017

8

国内たばこ事業実績

(億本, 億円)

	2016年 実績	増減率/ 増減%pt
JT販売数量	1,062	-2.8%
JTシェア	61.1%	+1.2%pt
MEVIUSシェア	31.4%	-0.7%pt
自社たばこ製品売上収益	6,497	+1.2%
調整後営業利益	2,602	+2.4%

趨勢減・T-Vapor影響による
紙巻総需要減少

MEVIUSの定価改定
Natural American Spiritの加入
競争力強化施策の効果発現



引き続き厳しい環境の中
ほぼ想定通りの実績

※ JT販売数量：国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを除く
なお、自社たばこ製品売上収益にはPloom TECHのデバイス・カプセルの売上を含む

© Copyright JT 2017

9

医薬・加工食品事業実績

(億円)

	2016年 実績	対前年 増減額
医薬事業		
売上収益	872	+116
調整後営業利益	97	+120
加工食品事業		
売上収益	1,641	-18
調整後営業利益	50	+23

医薬事業

- 導出品販売拡大による
ロイヤリティ収入の増加
- 開発進展に伴う一時金収入

加工食品事業

- ステータブルの売上は堅調
- 原価改善もあり利益率が向上



全社業績への着実な貢献

© Copyright JT 2017

10

2017年業績見込

全社業績見込

(億円)

	2017年 見込	対前年 増減
為替一定ベース		
調整後営業利益	6,070	+3.4%
財務報告ベース		
売上収益	21,100	-1.6%
調整後営業利益	5,870	+0.0%
営業利益	5,600	-5.6%
当期利益	4,020	-4.7%
FCF	3,550	+6,712億円

為替一定ベース**調整後営業利益**

**極めて厳しい事業環境の中
全社で利益成長を目指す**

財務報告ベース**売上収益・調整後営業利益**

厳しい状況下でも微減に留まる
調整後営業利益は前年同水準

営業利益・当期利益

前年高めであった不動産等売却益減少

FCF

大きな特殊要因は想定せず

海外たばこ事業見込 – 数量・為替一定ベース

	2017年 見込	対前年 増減率
数量見込	(億本)	
総販売数量	3,950	-0.9%
GFB販売数量	2,880	+1.5%
為替一定ベース	(百万US\$)	
自社たばこ製品売上収益	10,440	-0.5%
調整後営業利益	3,375	+9.1%

厳しい環境下でもトップライン維持

コスト低減効果の発現を見込む



**9%の利益成長を目指す
同時に事業投資も継続**

海外たばこ事業見込 – 財務報告ベース

	2017年 見込	対前年 増減率
財務報告 USDベース	(百万US\$)	
自社たばこ製品売上収益	10,170	-3.1%
調整後営業利益	3,150	+1.8%
財務報告 円ベース	(億円)	
自社たばこ製品売上収益	11,180	-1.8%
調整後営業利益	3,470	+3.2%

前提為替レート	2017	前年比
RUB/USD	60.00	11.8%
GBP/USD	0.81	-8.7%
EUR/USD	0.95	-4.9%
TRY/USD	3.65	-17.3%
JPY/USD	110	1.1%

詳細は決算補足資料10ページに記載

国内たばこ事業見込

(億本, 億円)

	2017年 見込	対前年 増減率
JT販売数量	960	-9.6%
自社たばこ製品売上収益	6,200	-4.6%
調整後営業利益	2,440	-6.2%

※ JT販売数量：国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを除く
 なお、自社たばこ製品売上収益にはPloom TECHのデバイス・カプセルの売上を含む

© Copyright JT 2017

主にT-Vapor需要の増加による
紙巻総需要の減少

紙巻の投資水準を最適化

2016年MEVIUS定価改定効果

Ploom TECH販売拡大効果



**販売数量の減少影響を
一部相殺するものの減収減益**

15

医薬・加工食品事業見込

(億円)

	2017年 見込	対前年 増減
医薬事業		
売上収益	980	+108
調整後営業利益	190	+93
加工食品事業		
売上収益	1,650	+9
調整後営業利益	60	+10

医薬事業

- ロイヤリティ収入が引き続き増加
- 烏居薬品での増益を見込む

加工食品事業

- 利益率改善に向けた継続的取組み
- 供給能力拡充に向けた設備投資を17年から実施



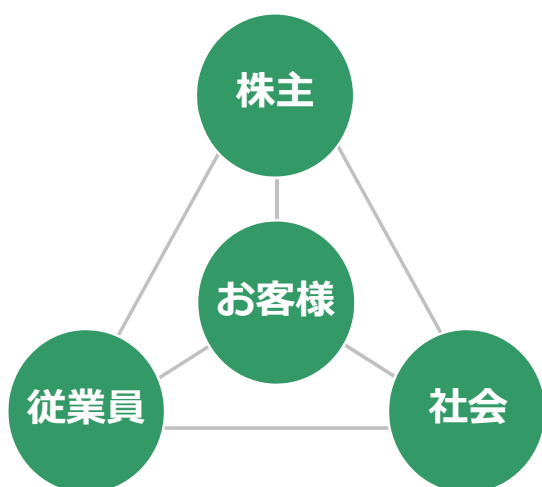
**増益幅は計100億円超
全社利益成長に引き続き貢献**

© Copyright JT 2017

16

終わりに

Closing Remarks



- 2016年 実績
 - 為替一定ベース調整後営業利益
対前年 **11.3%**成長
 - 株主還元
年間配当金 **130円**
- 2017年 全社利益目標
 - 為替一定ベース調整後営業利益
対前年 **3.4%**成長
- 2017年 株主還元コミットメント
年間配当金 **140円**